

IEP 配慮チェックリスト  
アラバマ州代替評価

2014 年 10 月改訂

以下に特定した州の配慮評価は、生徒の IEP に書かれている教育用配慮を反映したものです。これは生徒が指示を与えられたり、教室で試験を受けるときに常に教室内で提供されているもので、これまで成功を納めています。IEP チームが記入する場合、このチェックリストは生徒の IEP の一部になります。

名前: \_\_\_\_\_ 学校名: \_\_\_\_\_ 学年: \_\_\_\_\_ 年: \_\_\_\_\_

**A. 配慮の設定・実施。**作業・活動は以下の様に行われます

- 1. 生徒の家庭で (在宅生徒のみ)。
- 2. 数学作業・活動の説明者、教師の指示、生徒の応答を使用して。
- 3. 科学の説明者、教師の指示、生徒の応答を使用して。
- 4. 英語芸術作業・活動の説明者、教師の指示、生徒の応答を使用して。
- 5. 情報を探す作業・活動の説明者、教師の指示、生徒の応答を使用して。
- 6. 筆記作業・活動の説明者、教師の指示、生徒の応答を使用して。
- 7. 教師の指示を読む説明者と生徒の応答のみを使用して。
- 8. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

**ALSDE 承認時のみ。**

**B. 書式および/または装置の配慮。**作業・活動は以下を用いて行われます

- 1. 拡大装置。
- 2. 増幅装置 (例: 補聴器、聴覚訓練装置)。
- 3. そろばん。
- 4. 大きな文字の試験資料。
- 5. 点字。
- 6. 通信装置/AAC。
- 7. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

**ALSDE 承認時のみ。**

**C. 録音の配慮。**作業・活動は以下の録音配慮を用いて行われます。

- 1. 生徒はコンピューター・キーボードまたは AAC を使って回答を録音します。
- 2. 生徒の回答は教師または試験監督者によって録音されます。
- 3. 障害の性質と評価の性質のため、その他の必要な配慮を用いて。

**ALSDE 承認時のみ。**